

第10回有田地域等における 大規模氾濫減災協議会

開催日時：令和6年2月16日（金） 10：00～11：30

会議方式：WEB会議方式

【出席者】

有田市〈経営管理部〉脇村理事（望月市長代理）

かつらぎ町 南副町長（中阪町長代理）

高野町〈総務課〉清水防災危機対策室長（平野町長代理）

湯浅町〈総務課〉上野山主事（上山町長代理）

広川町 西岡町長

有田川町 中山町長

近畿中国森林管理局和歌山森林管理署 植田次長（森内管理署長代理）

森林整備センター和歌山水源林整備事務所 砂場事務所長

和歌山地方气象台 山本气象台長

和歌山県〈総務部〉防災企画課 田端主事（中村危機管理局長代理）

和歌山県〈農林水産部〉段子農林水産政策局長

小川森林・林業局長

和歌山県〈県土整備部〉太田河川・下水道局長

都市政策課 米田課長（小井都市住宅局長代理）

港湾漁港整備課 山本副課長（花田港湾空港局長代理）

和歌山県〈教育委員会〉中嶋教育総務局長

鍋田学校教育局長

和歌山県〈伊都振興局〉船富振興局長

〈有田振興局〉星加振興局長

（オブザーバー）

近畿地方整備局〈河川部〉紘本地域河川調整官

関西電力株式会社 再生可能エネルギー事業本部〈田辺水力センター〉村上所長代理

協議会開催にあたって

有田振興局長より「今回の協議会では、有田地域等の減災に係る取組成果の報告、有田川や広川の流域治水プロジェクトのフォローアップを行うので、忌憚のないご意見と、活発な議論をお願いしたい」と挨拶し、意見交換を行った。

議 事 等

- (1) 大規模氾濫減災協議会の規約の改正について事務局より説明を行い、協議会構成員に和歌山県教育委員会教育総務局長及び学校教育局長、幹事会構成員に和歌山県教育委員会教育総務局総務課長及び学校教育局教育支援課長が新たに参画することについて承認された。
- (2) 令和5年度の出水対応について、事務局より説明を行い、内容の確認を行った。
- (3) R4～R8の有田地域等の減災に関わる取組方針（第2期）について、事務局よりこれまでの取組内容に関する実施状況の説明を行った。
- (4) 有田川、広川流域治水プロジェクトについて事務局より取組内容に関する説明を行った。
- (5) R4～R8の有田地域等の減災に関わる取組方針（第2期）及び有田川、広川流域治水プロジェクトについて各構成機関からこれまでの取組事例の発表を行った。
- (6) 事務局より、「流域治水優良事例集」、「令和6年度水管理・国土保全局関係予算決定概要」、「地方債の活用事例」、「緊急浚渫推進事業債活用事例」、「水害リスク情報の充実」および「学校施設の水害対策の推進に向けた連携の強化」について情報提供を行った。
- (7) 和歌山地方気象台長より「顕著な大雨に関する気象情報の提供に係る情報提供」について情報提供があった。
- (8) 近畿地方整備局 地域河川調整官より、「特定都市河川の指定等の状況」について情報提供があった。

○和歌山県農林水産部 森林・林業局長より、「本日の協議会では各機関が様々な取り組みを行っていることが分かった。その一方で、5年間の計画の中での目標や進捗状況等について分かりづらい点があり、今後事務局で精査していただきたい。」と意見があった。

○和歌山県教育委員会 教育総務局長より、「学校として、ハード、ソフト面をどう対策していくかということについて考えなければならないが、知見があまりないため、技術的な面や、最小限備えるべきものなどについて相談にのっていただきたい。学校については県立だけでなく市町村、特に小中学校というのは地域の皆様の避難所として認知されているため、市町村の教育委員会や学校に対しても助言や対応をお願いしたい。」と意見があった。

○最後に和歌山県県土整備部 河川・下水道局長より、「各構成機関の皆様と連携し、情報を共有しながら取組を着実に進めていきたいため、参加機関の皆様にも本協議会を有効に活用していただきたい」と関係者に協力を依頼し、閉会となった。